



日本地誌要畧  
大槻修二編  
四

卷四  
中國  
山陰  
山陽

ル 3  
2132  
4



中國全圖

2132  
4

# 中國全圖

日本地誌要略卷之四

大槻修二編

中國

中國ハ、山陰山陽ノ兩道ヲ泛稱ス、蓋轉訛ナリ、丹波丹後

但馬因幡伯耆出雲石見隱岐ノ七國一島ヲ山陰道トナ

シ、播磨美作備前備中備後安藝周防長門ノ八國ヲ山陽

道トナス、東ハ畿内及東山北陸ニ道ニ接シテ、西ニ赴ク

百五十里左右、皆海ナリ、其端南ニ向ヒテ、西海道ト、海峽

ヲ夾ク、大山脈ハ東北ヨリ來ル者、其中央ニ亘リテ、西端

ニ盡ク、即全國ノ脊梁ナル連岳ニシテ、其陰陽ニ依リテ、



日本地誌要略卷之四

此兩道ヲナス南北甚狭ク、廣處三十里丹波美作ハ山間ニ在リテ、共ニ海ナキ國ナリ、其丹後以下ノ六國ハ日本海ニ向ヒ、海岸悉斷崖岬角ニシテ、島嶼稀少ナレド、若磯極テ多シ、其海水ノ潮汐少キハ、北海皆然リ、隱岐ハ、四島一國、其海上ニ峙シ、播磨及三備以下ハ海水ヲ夾ミテ、南海ノ四國ト相對シ、中央ハ、兩地相逼リ、大小ノ群島並列シテ、屬境相交ル、東隅ヲ、播磨灘ト云ヒ、西端ヲ、周防洋ト呼ヒ、海幅漸寬廣ナリ、長門ハ、兩道ノ最端ニシテ、三面ニ海ヲ受ク、○抑此兩道ハ、太古ヨリ著名ノ國々ニシテ、其伯岐、稻葉、出雲、美作、神世ノ事蹟アリ、南北朝以後ハ、謂ユ

ル群雄割據ノ形勢ヲナシ、赤松氏ハ、播磨美作備前ヲ領シ、山名氏ハ、但馬因幡伯耆ヲ并セ、大内氏ハ、周防長門ヲ保シ、其後尼子氏出雲ヨリ起リ、石見隱岐ヲ取リ、伯耆因幡ニ及ブ、浮田氏ハ、備前ニ據リテ、美作ヲ兼テ奪フ、毛利氏、義兵ヲ安藝ニ起シ、大内氏ノ亂ヲ討シテ、其領國ヲ并テ、遂ニ備中備後ヲ從ヘテ、尼子氏ト連年攻戰シテ、是ヲ滅ス、浮田山名ノ兩氏、皆共ニ服從ス、常ニ吉川小早川ノ二主帥ニ、兩道ノ督任ヲ分テ授ケ、其威ヲ兩道ニ振テ、而テ、二丹ハ、京畿附近ノ地ニシテ、秦氏、一色氏ノ領屬タリシガ、織田右府ノ近畿ヲ平定スル時、二氏共ニ滅亡ニ就

久仍テ、明智光秀ニ、丹波ヲ賜ヒ、細川藤孝ニ、丹後ヲ與ス、  
 更ニ羽柴秀吉ニ、中國征伐ノ命ヲ授ケ、播磨ヲ取リテ、自  
 封セシム、秀吉乃、赤松氏ヲ亡シテ、浮田氏ヲ招キ、北ニ進  
 ミテ、因幡ノ鳥取ヲ圍ミ、山名氏ヲ降シテ、毛利氏ト相爭  
 ヒ、更ニ兵ヲ轉シテ、備中ノ松山ヲ陷レ、攻戰數年、遂ニ伯  
 耆ノ馬山及備中ノ甲部川ヲ限リテ、相講和スト云フ、其  
 中國ノ名ハ、元山陽一道ヲ呼ブ者ナレド、毛利氏ノ安藝  
 ニ居リテ、山陰數國ヲ兼有セルヲ以テ、兩道ノ泛稱ニ用  
 井来ルル久シ、故ニ今是ニ由レリ、  
 丹波ハ、桑田、船井、何鹿多、紀、冰上、天田、六郡ヲ指シ、

山脈ノ中間ニ居ル國ニシテ、四境皆連山重岳、其北境最  
 峻秀ナリ、鬼城、大江ノ兩大岳ハ、福智川ヲ夾ミテ、共ニ丹  
 後ニ跨ル、此連山ハ、即大山脈ノ西ニ走ル者ニシテ、知井  
 山ハ、八峯等、近江若狹ノ間ニ峙チテ、其脈ヲ起ス、東南ハ、畿  
 内ニ圍マレ、山城ノ愛宕山、正東ニ峙チ、西京ニ達スル老  
 坂、漸峻險ナラズ、保津川ハ、其間ヨリ東ニ出テ、大井川  
 トナル、半國山、其南ニ聳エ、攝津ノ境ニ亘リテ、南境ノ連  
 山ヲナス、正西ハ、播磨但馬ニ接シ、三國兵、其間ニ立チテ、  
 南北ノ山脈ヲ并ス、陰陽兩道ノ由リテ、相分ル、處ナリ、  
 篠峯、三草ノ諸山、其南ニ列リテ、特ニ播磨ノ界ヲ限リタ

レト、久下川、尚南下シテ、同國ノ加古川トナル。○國中モ、皆山ニシテ、平地少ク、畑山中央ニ峙チ、御岳ミカサガ、金岳コカサガ、西岳セウガクノ三峯、相並ヒ、蜂尾山ハチビ其東ニ高ク聳ユ、山間ノ瀑布ヲ、大瀧ト云フ、一谷七條故ニ四十八瀧ト呼フ、是ヲ久下川ノ源トナス、清水シメツ、矢谷ヤタケノ諸山、其西ニ峙ツ、國內ノ山脈、屈曲斷續シテ、川流數十、其谷間ヲ環流シ、各流レテ、上ノ三川ニ入り、遂ニ東北南ノ三方ニ分流ス、保津ホウヅ和知ワチノ兩川ハ、共ニ知井山ヨリ出デ、保津ハ上流ヲ藤田川ト云ヒ、愛宕山ノ陰ヲ遶リ、西ニ赴キテ、弓削川ユウセウヲ并セ、轉シテ、南ニ下ル、園部川ハ、半國山ニ出デ、南ヨリ来

リテ、東ニ折レ、相合ヒテ、鳥羽川ト呼ビ、龜岡ノ北ヲ流レテ、始テ、保津川ノ名アリ、和知ハ、福知川ノ上流ニシテ、棚野川テノヲ并セ、環流シテ、西ニ下リ、上林川カシバヤシハ、若狭ノ界ヨリ来リ、高野タカノ土師ツチノノ兩川ハ、中央ノ峽間ニ就キテ、南ヨリ入ル、皆共ニ會流シテ、福知山ニ至リ、始テ福知川ノ稱アリ、久知川、牧川、但馬ノ界ニ發源シ、東ニ下リテ、相合フヤ、川流爲ニ轉ジテ、北ニ赴キ、丹後ノ由良川ユラトナル、其流十餘里ニシテ、國中ノ大川ナレ、氏、福知山ヨリ、始テ小舟ヲ通ズルハ、大蜘蛛川ハ、即大瀧ノ下流ニシテ、久下川ノ上流タリ、西ニ流レテ、播磨ニ入ル、佐治川ハ、源ヲ三國岳ニ發

シ、南ニ下リテ相會ス、凡、西南ノ衆水、皆此二川ニ注ガザルナシ、其合流ノ處ヲ、國境トナス。

國中ノ邑里、其城市タル者八處、皆河流ニ從ヒテ、要地ヲ占ム。龜岡、福知山、其中ニ冠タリ、郡村モ、亦峽間岸邊ニ沿フノミ、上林、山家、綾部ノ三邑ハ、和知川ニ傍ヒ、笹山、柏原ノ兩地ハ、久下、佐治兩川ノ近傍ニ屬ス、園部ハ、河ニ臨ミテ、行舟ヲ下流ニ通ズ、而テ、龜岡ハ、京都ト相距ル六里、運輸ノ便、國中其比ナシ、舊名ヲ、龜山ト云フ、即明智光秀ノ新ニ築キシ處ナリ、丹後ハ、五郡ニシテ、加佐、與謝、中竹、野熊、野トナス、

經、御崎ハ、中央ニ突起シ、巨岩直立シテ、海潮極テ奔激ナリ、國中第一ノ大岬ニシテ、全道、此北出入、端角ナシ、其危險、又、猶能登、御崎ノ如シ、海岸ハ、東南ニ環リ、岩洞、巨礁、相並ビテ、又一岬ヲ峙ツ、鷲崎ト云ヌ、東ニ向ヒテ、成生崎ト相望ミ、其間、一大海灣ヲ成ヌ、灣内ニ、伊根浦アリ、與謝海アリ、由良、港アリ、田邊入江アリ、其東北ハ、野原田井ノ諸濱、相連リ、松尾山、其東ニ峙チテ、國界ヲ擁ス、即若狹ノ青葉山ナリ、其北端ヲ成生トナス、岬側ニ毛島アリ、其海上ニ、冠島、皆島、相並ヒ、周回各一里ナレ、其斷崖ニシテ、居民ナシ、只冠島ノ陰、僅ニ風浪ヲ避クル處アルヲ、

伊根浦ハ、蜂崎出デ、平田ノ港市ヲ擁シ、青島海口ニ峙  
チ其灣南ニ向ヒテ、行舟常ニ風浪ヲ避クル良泊トス、○  
與謝海ハ、海水西ニ向ヒテ、深ク入ル五里、又入江ト云フ、  
一條ノ長洲、其中央ヲ横絶シ、白沙青松、一行並列スル一  
里、其幅僅ニ二三十間、南北ニ亘リテ、共ニ兩岸ニ接ス、其  
狀恰長橋ヲ架クルガ如シ、天橋立ト云ヒ、又浮橋ト云フ、  
松洲ノ奇勝ハ、駿河ノ三保松原、及筑前ノ海中道ノ上ニ  
出デ、且本邦三景ノ其一タリ、洲ノ南端、中断シテ、舟行ヲ  
通ズ、切戸ト云フ、以内ヲ内ノ海ト呼ビ、周回四里、岩瀧港  
其西岸ニ臨ミ、野田川南ヨリ来リテ、港内ニ入ル、其切戸

以外ヲ外ノ海ト呼ブ、沿岸七里、波見崎、黒崎ト、海口ヲ夾  
ミ、其東南岸、更ニ一灣ヲナシ、獅子崎、其北ヲ抱キラ、官津  
港ヲナス、此地ハ、即一色氏累世ノ居城ニシテ、街市繁盛、  
且碇泊ノ便、最他港ニ超ユ、凡北海ノ舟船、其中國ヲ廻航  
スル者、冬月ハ、北風ノ烈シキヲ以テ、多ク港内ニ滞泊シ  
テ、春和ヲ待ツト云フ、五萬騎金引狼烟ノ諸山、相並ビテ  
城市ノ背ヨリ、入江ノ南ニ列ル、成相山ハ、高ク北岸ニ聳  
エテ、相對ス、其後山ヲ總稱シテ、世屋山ト呼ビ、其峯ヲ鼓  
岳ト云フ、松尾山、其北ニ峙チテ、更ニ高シ、是ヲ大鼓岳ト  
云フ、○由良港ハ、由良川ノ海口ニシテ、河幅頗廣シ、故ニ



直ニ大川ト呼ブ、由良岳其上ニ秀デ形似ヲ以テ、丹後富士ト云フ、港内、舟泊ニ便ナラザレ氏、河運ノ上流ニ通ズル者四里、小舟ハ更ニ遡ル七里ニシテ、丹波ノ福知山ニ達ス、○田邊入江ハ、カキサキ金崎洲崎海口ヲ夾ミテ、峽間相逼ル、灣内ヲ<sup>フミ</sup>笛浦ト云フ、沿岸十二里、長濱中央ニ出デ、更ニ兩灣ヲナス、田邊ノ城市、其西灣ニ臨ミ、ニツツシ二橋川丹波ノ界ヨリ来リテ茲ニ注ク、此間ハ、地幅甚狭クシテ、國境ヲ隔テ、ル僅ニ二里、此地、元ハ<sup>ヤダ</sup>八田ト云ヒ、細川氏ノ居城ヲ築クニ及ビ、其名ヲ改メシガ、今又<sup>マヒツル</sup>舞鶴ト改稱セリ、千丈岳ハ、丹波ノ大江山ニシテ、岳間ニ千丈原アリ、千丈

瀧アリ、瀑布ノ下流ヲ、<sup>フメ</sup>二瀬川ト云フ、東南ニ流レテ、大川ニ入ル、其岳陰ニ出デ、北ニ下ル者ヲ、倉梯川トナス、即野田川ナリ、白石岳其奥ニ聳エ、但馬ニ跨ル者ヲ、三國岳ト云フ、普甲嶺ハ、群岳ノ脈ヲ承ケテ、其北ニ峙チ、連山、遂ニ由良岳ニ接シテ、宮津由邊兩城ノ間ヲ限ル、嶺今、<sup>チヤセ</sup>千歳坂ト云フ、其南麓ハ、即、<sup>マナヒ</sup>真名井原ニテ、<sup>トヨケ</sup>豐受大神ノ舊趾タリ、今、<sup>ユウモリ</sup>河守社ヲ奉祀シテ、地名ヲ元伊勢ト云フ、磯砂山ハ、國中第一ノ高岳ニシテ、中央群山ノ西南ニアレ、<sup>ミシウラ</sup>猶北海行舟ノ標準タリ、古足占山ト唱ヘシ者是ナリ、竹野川源ヲ山中ニ發シ、中央ノ衆水ヲ并セテ、北ニ流

山ノ城市ヲ過キ、六里ニシテ海ニ入ル、海口ノ濱浦  
 ハ、經岬ノ西南ニシテ、湊宮ニ至ル十里、五色大鼓、琴引ノ  
 諸濱相連リ、小濱淺茂川ノ兩小湖直ニ海濱ニ接シ、間人  
 所野ノ兩港アリ、沿岸勝景ノ地多シ、是ヲ遊浦ト呼ブ、  
 湊宮ハ、久美濱ノ海口ニシテ、兩港其左右ニアリ、朝日湊  
 ハ、西ニアリテ東ニ向ヒ、夕日湊ハ、東ニアリテ西ニ向フ、  
 故ニ此稱アリ、灣内沿回五里、川上佐野ノ兩川注キ入り  
 久美濱ノ港市、其正中ニ臨ミタレ、灣口ノ狹淺ナルヲ  
 以テ大船ヲ納ル、能ハスト云フ、其西山ハ即但馬ノ境  
 ニシテ、連山東南ヲ限リ、磯砂山ノ背ニ亘リテ、三國岳ニ

接スル者ヲ、國界ノ山脈トナス、  
 和銅六年、丹波ノ五郡ヲ割キテ、此國ヲ置ク、而テ丹波郡  
 却テ其中ニ在リ、今中郡ト云フ者、是ナリ、  
 但馬ハ、八郡ニシテ、朝來、養父、出石、氣多、城崎、美含、二方、  
 七美ト云フ、  
 夢川ハ、源ヲ生野、銀山ニ發シテ、北ニ下リ、十六里ニシテ、  
 海ニ入ル、舟運ヲ通ズル者、六七里、川流ハ、過クル處ノ郡  
 名ニ因リテ、其稱ヲ異ニス、朝來、川養父、川氣多、川ハ、共ニ  
 上流ニシテ、出石川ト合ヒテ、城崎川ト云フ、凡此五郡ノ  
 水皆注キ入ラザルナシ、出石川、其大ナル者ナリ、丹後ノ

界ヨリ出テ、西ニ流レ、數里ニシテ、出石ノ城市ニ至リ、  
 始テ舟行アリ、其合流以下ハ、河幅頗大ニシテ、豐岡湯島  
 ノ兩邑ヲ過キ、河中ニ洲嶼アリ、其大ナル者、海口ノ中央  
 ニ峙ツ、津居山ト云ヒ、東西ノ兩口ヲナス、島陰ハ、海港ナ  
 リシガ、近來淤塞シテ、大船ヲ繫ク能ハズ、其東口ハ、氣比  
 田<sup>ダイ</sup>結ト相夾ミ、濱浦直ニ丹後ノ湊宮ニ至ル、僅ニ里餘ニ  
 過キズ、○矢田川ハ、氷山ヨリ發シ、亦北流スル、十三里、  
 村岡川ヲ并セ、七味一郡ノ水皆集ル、久斗山ノ麓ヲ遶リ、  
 テ、海ニ入ル、此他ハ、訓谷竹野ノ諸川ハ、皆小川、  
 シテ、西隅ノ大<sup>オホ</sup>初<sup>ハジメ</sup>川<sup>カハ</sup>、漸大ナリ、其源ヲ青葉清水ト云フ、流

ル、二里計、河口ヲ濱坂トナス、其諸寄港ト、接近セルヲ  
 以テ、又諸寄川ト呼ス、  
 海岸十八里、共ニ斷崖岩礁ニシテ、鹿島伊丹鬼門ノ三岬  
 突出シテ、舟泊ノ地少シ、僅ニ津居山諸寄及丹生ノ三港  
 アルノミ、丹生ハ、中央ノ良港ニシテ、沿灣二里、又芝山港  
 ト云フ、海口甚狭ケレテ、西ニ向ヒテ、北風ヲ避クル便地  
 トス、諸寄港ハ、雪、白濱等、連リテ、灣内廣カラザレテ、水深  
 クシテ、又、克碇泊ニ堪ヘタリ、○伊丹崎ハ、餘部御崎ト云  
 フ、丹生諸寄ノ中間ニアリ、蓋久斗山ノ脈、美含ニ方ノ郡  
 界ニ亘リ、蓮臺山<sup>レンダイサン</sup>海岸ニ立チ、其端突出スル三里、此大岬

ヲナス、邊ニ丹後ノ經岬ト相對シ、海中ノ險モ亦相次ク  
ト云フ、鬼門崎ハ、濱坂ノ東ニ峙チ、以西ハ、穴見居組丸山  
等ノ小岬相並ヒテ、因幡ノ界ニ亘ル、鹿島ハ、海中ニ屹立  
シテ、雙峯高ク聳エ、砂洲一帶陸地ニ接シテ、岬角ヲナス、  
又、猫崎ト云フ、此地ハ、竹野川ノ海口ニシテ、宇井田久井  
ノ諸濱相連リテ、瀬戸口ニ至ル、即津居山ノ西口ナリ、  
國中山多クシテ、河岸ノ地僅ニ平地アルノミ、國境最重  
峻ニシテ、冰山高ク、因幡播磨ニ跨リ、其脈又美作ニ及フ  
ヲ以テ、四箇山ト呼ブ、兩道ノ中間ナル大岳ニシテ、豹山  
北龍山等ノ名アリ、四境ノ連山、是ヨリ起リ、石原山、其脈

ヲ承ケテ、中央ニ峙チ、仍テ國內ノ山岳ヲ列ネ、水流モ亦  
由リテ、東西ニ分流ス、其峯頂ノ佛閣ヲ以テ、妙見山ト云  
フ、西陰ニ猿尾瀧アリ、是ヲ村岡川ノ源トナス、其正南山  
間ノ大瀑布ヲ天瀧ト云フ、高四十丈、其水東流シテ、養父  
川ニ入ル、○生野、銀山ハ、播磨ノ界ナル礦場ニシテ、金銀  
共ニ産出シ、採掘最盛ナリ、其他、明延中、瀬河瀬ノ諸銀山、  
皆妙見山ノ脈ニ連リ、一歳ハ全數殆佐渡ニ敵スト云フ、  
○粟鹿山ハ、丹波ニ跨ル高山ニシテ、郡名ニ因リ、天朝來  
山ト呼ブ、一川其山背ヨリ出テ、生野ヲ過キテ、南流スル  
者アリ、是ヲ播磨ノ市川ノ上流トナス、

豊岡ハ國中ノ一都會ニシテ、湯島ト相距ル三里三開山  
河水ヲ隔テ、東南ニ聳ユ、亦形ヲ以テ、但馬富士ト云フ  
湯島ハ、舊名ヲ大溪ト云フ温泉ノ沸キ出ヅルニ依リテ、  
此稱アリ、来日岳其西ニ峙チ、其端津居山ト相對ス、此地  
ハ有名ナル浴場ニシテ、生野ニ至ル十六里、新ニ大道ヲ  
築キテ、車馬ヲ通セントス、其山陽ニ達スル者ハ、礦山ノ  
盛ナルヲ以テ、早ク既ニ大路ヲ開ケリ  
因幡モ、亦八郡ニシテ、岩井法美八東知頭ハ上氣多高  
草色美トナス

一國ノ海岸僅ニ十二里、其濱浦悉荒磯ニシテ、中央ニ賀

露ノ一港アルノミ、鳥島其港口ニ峙チテ、舟泊ノ地ヲナ  
セ氏、千代川、袋川及湖山池ノ下流皆集リテ、灣内ニ注ク  
故ニ沙礫流滯シテ、其淺深ヲ定メズト云フ、○千代川ハ  
源ヲ人坂峠ニ發シ、八河内谷及横瀧等ノ末流ヲ并セテ、  
北ニ流ル、一十二里河口ニ至リテハ、其幅二百間、賀露  
川ト呼ブ、國中ノ大河ニシテ、氣多岩井二郡ノ外ハ、衆水  
悉合流ス、其用瀬ヨリ、海口ニ至ル六里、河運ノ便アリ、ハ  
東川ハ、若櫻川ト云ヒ、東南ノ溪谷ヲ集メ、大鹿諸鹿ノ諸  
瀑布等皆其源流タリ、西ニ環リテ、千代川ニ合フ、○袋川  
ハ、上流ヲ國府川ト云ヒ、又、因幡川ト呼ブ、其源亦兩龍宮

瀧等ヨリ流れ来リテ、西ニ赴キ、鳥取ノ城市ヲ過ギテ、舟行アリ、遂ニ賀露川ニ入ル。○湖山池ハ、周回三里、青島其中央ニ峙チ、左右ニ數小嶼アリ、下流直ニ賀露浦ニ入ル、其間一里ニ充タズ、

山岳ハ、國境ヲ圍ミテ、中央ニ及ビ、羣峯各方ニ屹立シ、其最高キ者ハ、美作ノ界ニ那岐山アリ、其東腹ヲ人坂トナス、但馬播磨ノ間ハ、冰山特ニ峻秀ニシテ、菅山三國山等ノ屬峯相峙チ、池田陣場ノ諸山、其前ニ列ル、衆山ノ溪流ハ、皆ハ東川ニ入ル、其東境ニ並ビテ、但馬ノ境ニ聳ユル者ハ、扇山最大ナリ、因幡山其脈ヲ承ケ、西麓ニ接シ、又宇

倍山ト云フ、袋川ノ源實ニ其深谷ノ間ニアリ、○沖山籠山圖中山ハ、共ニ西南隅ノ高山キシテ、其溪間ノ大瀑布ハ、高七十丈、是ヲ横瀧ト云フ、其後山重疊シテ、伯耆ノ境ヲ限リ、其美作ニ亘ル者亦三國山ト云フ、

鷹峰ハ、高ク西北隅ニ聳エ、西麓ヲ鹿野ト云フ、小城市ニシテ、伯耆ニ通スル要地タリ、山中ノ溪流相集リテ、一河トナリ、氣多郡ノ水皆注キ合ヒテ、北ニ下ル、山名ト、其稱ヲ同クス、海口ノ西ニ、長尾鼻突起ス、沿海ノ間、其岬端ノ狀ヲナス者、只此一岬ノミ、○湯山池ハ、東隅ノ海濱ニ接シ、細川池ト、共ニ海ニ入ル、其海岸ハ、岩戸網代田後ノ諸

浦相列レ氏、皆小灣ニシテ、田後ハ、浦住ト云ヒ、其中ニ於  
テ少シク、碇泊ノ用ニ堪ヘタリ、其南ニ湯村ノ温泉アリ  
又郡名ニ因リテ、岩井ト呼ベリ、  
鳥取ハ、大都會ニシテ、赤松氏世々此城ニ居リテ、因幡但  
馬ヲ領セシガ、羽柴氏ノ征討スルニ及ビ、其族祐豐、出石  
ヲ以テ降ル、秀吉遂ニ進ミテ、來リ圍ム、其質子ノ鹿野ニ  
在ル者ヲ虜ニシテ、其降服ヲ要ス、城主豊邦、即降ル、而テ  
城兵猶固守シテ、毛利氏ノ救援ヲ待ツ、秀吉急ニ攻メテ、  
遂ニ陷レシト云フ、其城ハ、北ニ連山ヲ負ヒ、山後直ニ北  
海岸上ニ臨ム、袋川、街市ノ間ヲ流レテ、賀露浦ニ注グニ

里東ハ宇倍山ノ麓ニ至ル一里餘地、勢漸開ケテ、城市頗  
繁盛ナリ、國中ノ地、此數里ノ平野アルノミ  
伯耆ハ、河村、久米、八橋、汗入、會見、日野ノ六郡ナリ、  
大山ハ、兩道第一ノ高岳ニシテ、角盤山、大神山等ノ稱アリ、  
山麓北ニ亘リテ、海濱ニ至ル數里、西ハ日野川ノ海口  
ヨリ、東ハ橋津、湊ニ至ル十三里、八橋、汗入、會見ノ三郡、是  
ヲ環リ、其岸斷切シテ、岬角ヲナサズ、島嶼ヲナサズレ氏、  
岩礁ノ海底ニアル者、極テ多ク、土俗是ヲ瀬ト呼ビ、繰ト  
呼ビテ、相共ニ舟行ヲ戒ムト云フ、○山中ノ溪間ニ瀑布  
數條アリ、千丈瀧最大ニシテ、高四十丈、下流ヲ勝田川ト

云フ、劍谷岩谷ノ兩瀑ハ、各十餘丈、共ニ阿彌陀川ニ入ル、  
其他洗井加勢蛇ノ諸川、皆山中ニ發源シテ、共ニ直ニ海  
ニ入ル。○大山ノ背ハ、美作ニ接シ、群峯相重リテ、道路ヲ  
通セズ、其東脈ニ並フ者ハ、蛭山、人形山、共ニ國境ニ跨リ、  
大瀧大谷ノ諸山、其前峯ニ屬シ、三國山、其隅ニ峙チテ、因  
幡ニ亘ル、山脈轉ジテ、北ニ赴キ、美徳山、聳エテ、同國ノ鷲  
峯ニ接ス、其山高峻ナラザレバ、入王山、岩石ニシテ、奇勝ノ  
地多シ、大山及船上山ト、并稱シテ、伯耆ノ三山ト呼ブ、○  
船上ハ、中央ノ高山ニシテ、後醍醐帝ノ隱岐ヨリ、此國ニ  
遁レ入り給フヤ、名和長年、舉族奉戴シテ、山上ニ行在ヲ

建テ、遂ニ近國ノ王師ヲ召集セシ處ニシテ、其山頗高ク、  
北ハ直ニ大山ニ連リ、斷崖峻坂最險要ノ處タリ、  
天神川ハ、東隅ノ數川ヲ和田ニ并セテ、北ニ流レ、橋津ノ  
西ニ注ク、此地方ハ、南北ノ幅甚狹クシテ、其流各七八里  
ニ過ギザレバ、衆水ノ湊合スルヲ以テ、河幅頗廣シ、竹田  
川ハ、人形山ニ出デ、三朝川ハ、美徳山ノ奥ヨリ來リ、相合  
ヒテ、北ニ下リ、天神川トナル、小鴨川ハ、蛭山ノ脈ニ出テ  
、北流シ、新村川ト、共ニ倉吉國府兩邑ノ間ヲ過ギテ、和  
田ニ會流ス、○橋津港ハ、東隅ノ港泊ニシテ、其東直ニ因  
幡ノ界ニ接シ、沿海僅ニ三里、東郷湖周圍三里又東江ト



云ノ、港ヲ東南ニアリ、下流半里計ニシテ、港内ニ注グ、故  
ニ橋津川ト呼ブ、湖水ノ東南ハ連山相圍メ、西北ハ漸  
平ナリ、湖中ノ一嶼ニ、温泉沸キ出ヅ、仍テ浴場ヲ設シ、羽  
柴氏ノ、鳥取城ヲ陷ル、ヤ、吉川元春来リ救ヘ、氏及ハズ  
馬山ニ陣シテ、其来ルヲ待ツ、其地湖水ニ臨ミ、天神川ヲ  
背ニス、秀吉其孤軍必死ナルヲ知り、兵ヲ引キテ去ル、故  
ニ講和スルニ及ビ、遂ニ領國ノ經界トシタリシトゾ、  
日野川ハ、國中ノ大川ナリ、其上流ノ地方ハ、即日野郡ニ  
シテ、大山ノ西陰ニ當リ、鎌倉山河流ヲ夾ミテ、其北ヲ限  
ル、船通山ハ、出雲ニ跨リ、大倉三平ノ諸山、其南ヲ圍ミテ、

備中備後ノ界ニ峙ツ、僅ニ峻坂ヲ、美作ニ通ジテ、山陰ノ  
官道トナス、其山路屈曲スルヲ二里餘、四十曲峙ト云フ、  
故ニ一郡ノ地、大山脈ノ峽間ニアリ、鐵山甚多ク、現場三  
十五坑アリト云フ、山谷ノ水、集リテ、東ニ流ル、九里餘、  
更ニ屈折シテ、大山ノ麓ヲ下リ、北流スルヲ八里、日吉津  
ニ入ル、海口ノ地頗平遠ニシテ、一條ノ砂洲、其北ニ突出  
スル五里、其幅半里ニ充タズ、弓濱ト云フ、出雲ト中江ノ  
海峽ヲ夾ミ、其内ハ、兩國ニ亘リタル入海ニシテ、中海ト  
稱ス、境浦ハ、峽中ニ臨ム、港泊ニテ、其口東ニ向ヒ、峽間相  
逼リテ、僅ニ二町計ナレド、南岸一里、悉大船ヲ繫ク可シ、

此國ノ海岸モ亦北風ノ衝突ニ當リ、日吉津橋津ノ間ニ、  
淀江赤崎松谷ノ諸浦アレモ、共ニ其灣淺小ニシテ、且岩  
礁ノ前面ニ連ルヲ以テ、舟船皆此峽間ニ入りテ碇泊ス、  
○米子ハ、中海ニ臨ミタル城市ニシテ、深浦ト呼ブ、亦舟  
泊ノ地タリ、其地國界ニ接シ、東ハ日野川ノ岸ニ至ル半  
里計、更ニ海口ニ達スルモ、亦一里ニ充タズ、其山陰ノ官  
道ニ當ルヲ以テ、國中ノ一都會タリ

出雲ハ、十郡ニシテ、出雲楯縫秋鹿島根大原意宇能義  
仁多飯石神門トナネ

宍道湖ハ、周回十三里、中海ハ、沿岸十六里、相竝ビテ、北方

ニ横ル、上世ハ、兩水相通ジテ、意宇海ト呼ビ、東西兩海口  
アリシガ、今ハ、西口既ニ塞リテ、平野五里計、杵築ノ濱ニ  
至ル迄、又岡阜ナシ、其湖海ノ間モ、相隔ルヲ二里計、其水  
鹹淡ヲ分ツ、湖水東ニ流レテ、中海ニ入ル、其河口ヲ馬瀧  
瀨戸ト云フ、古ハ朝酌ト呼ビシトゾ、○杵築ノ彌山ハ、西  
北ノ海端ニ峙チ、山脈東ニ亘リテ、楯縫秋鹿島根ノ三郡  
ヲ列ネテ、湖海ノ北岸ヲ擁ス、西岬ヲ日御崎トナシ、東端  
ヲ羨保崎トナス、其背北海ノ岸ニ臨ミ、岬出テ、灣入り、三  
十五里ノ間、悉絶壁直立シテ、往々、人行ヲ通ゼザル處ア  
リ、海面ハ、岩礁並列散布シ、潮流ノ急激ナルヲハ、實ニ舟

行ノ險惡ヲ極ム然氏江角加賀鷺浦等ノ港泊アリテ斷崖ノ際巧ニ風浪ヲ避クル處ヲナス○多古鼻最北ニ出テ、巨岩高ク峙テ、六島平島等、其左右ニ並立ス、十六島峙ハ岬ヲ環リテ、十六ノ巨礁列峙ス、故ニ此名アリ、礁ノ最大ナル者ヲ、經島ト云フ、仍テ、又、經島鼻トモ呼ベリ、美保崎ハ、今地藏鼻ト云フ、亦岩岬ニシテ、海上ニ地御前沖御前ト唱フル兩大礁アリ、岬陰ヲ美保關ト云フ、國中第一ノ港ニシテ、灣口南ニ向ヒテ、碇泊甚平穩ナリ、其西岸五里ヲ、粟江瀬戸ト云フ、即伯耆ノ弓濱ト中海ヲ抱ク海峽ニシテ、其間一里、峽内ハ、去真突起シテ、其口ヲ擁ス、

嵩山枕木山共ニ入海ノ北岸ニ峙テ、海上ハ、大根島中央ニ屹立ス、周回ニ里、又、檜島ト云フ、江島清水縹等、其傍ニ並列セリ、○湖北ヲ限ル連山ハ、旅伏山最高シ、總稱シテ神奈備山ト呼ブ、其西端ヲ彌山トナス、又ハ雲山ト云フ、鶴山龜山ノ兩峯、其左右ニ秀ヅ、中間ニ出雲大社ヲ奉祀ス、其山端直ニ岬角ヲナス故ニ、又御崎山ト呼フ、日御崎是ナリ、矢利追石ノ雙岬並出シ、岬際ヲ宇龍港トナス、杵築ハ其西海濱ニ臨ミ、大社ノ下市ナルヲ以テ、宮内濱ト云ヒテ、小都會ヲナス、海岸彎曲シテ、西ニ亘リ、西園指海ノ諸浦相連リテ、石見ノ境ニ達ス、其海上ニ、壘島アリ、

簸川ハ、國中第一ノ大河ニシテ、上流ヲ斐伊川ト云ヒ、下流ハ直ニ大川ト呼ブ、其流二十里、源ヲ鳥上山ニ發シ、東南隅ノ山間ヲ、西ニ流レ、龜嵩川、阿井川等ヲ并セ、轉ジテ北ニ下ル、三刀屋川ハ、西ヨリ入り、阿用川ハ、東ヨリ注ギ、水勢頗大ナリ、山圍ノ解クル處ヲ、出雲郡トナス、昔時東西ニ分郡セシトアルニ因リ、其郡名ハ、尚出東ノ訓稱ヲ用キタリ、水流ハ平野ノ間ニ出テ、大曲ヨリ、折レテ東ニ赴キ、四條ニ分派シテ、各湖水ニ入ル、更ニ出、西ヨリ、河水ヲ疏通シテ、舟運ニ便ニスルヲ新川ト云フ、昔時ハ、平野ノ中間ヨリ西ニ流レ、稍南ニ轉ジ、古志川ニ會シテ、神門

湖トナリ、其周囲五里計ニシテ、下流ハ指海浦ニ注ギシトゾ、○古志川モ、亦西隅ノ大河ナリ、女龜山ヨリ出ル者、琴引山ニ發スル者、相合ヒテ、北ニ下リ、畑川ヲ并セ、其神門郡ノ衆水ヲ集ムルヲ以テ、又郡名ヲ呼ブ、平野ノ西ヲ流レテ、西北ニ赴キ、直ニ西園濱ニ注グ、○神門湖ハ、今神西湖ト云フ、兩大河ノ變遷ニ依リ、其周岸漸逼リテ、ニ里ニ充タズ、湖口ハ、尚指海川トナレリ、三瓶山ハ、石見ニ跨リ、西境ヲ限リテ、最峻秀ナリ、其脈備後ニ接スル者ヲ、三國山トス、是ヨリ東ハ、大山脈ノ連峯トナリ、女龜山國境ニ聳エ、琴引山其北ニ峙シ、阿圖馬猿

政ノ諸山ハ、皆陰陽兩道ノ間ニ並テ高岳ニシテ山間ニ  
鐵壙多シ、其隅ノ鳥上山ハ、即伯耆ノ船通山ナリ、  
國中ハ、玉峯猿隱坊床ノ諸山東境ヨリ繞リ亘リ、三郡山  
最高シ、天狗山其脈ヲ承ケテ、北ニ峙ツ、古ハ熊成岳ト云  
ス、遂ニ大國龍岩佛經ノ連山トナリテ、兵道湖ノ南岸ニ  
並列ス、亦神奈備山ト總稱ス、此群山ヨリ出ヅル水流ハ、  
皆北ニ下リテ、中海ニ入ル、能義川、其中ニ冠タリ、又飯梨  
川ト云フ、比田川、玉峯ヨリ出テ、山佐川、三郡山ヨリ来リ、  
兩源相合ヒテ、廣瀨ヲ過ギ、富田ノ城趾ヲ遠ル、故ニ、又富  
田川ノ稱アリ、其他ハ、出雲郷川、天狗山ニ發源シ、井尻川

安来港ニ注グ、○安来ハ、中海ノ南岸ナル舟泊ニシテ、  
神山海中ニ峙チ、伯耆ノ米子ト相距ル三里、海水深ク其  
際ニ入リテ、國界ヲナス、  
松江ハ、兵道湖ノ東北岸ニ跨ル一都會ナリ、兩郡橋ヲ湖  
口ニ架ケテ、街市ヲ其南北ニ列ヌ、橋下舟泊ノ處ニシテ、  
中海ヨリ来ル者皆入りテ碇泊ス、其直ニ外海岸ノ漕輸  
ヲナス者ハ、佐田川アリ、湖水ノ一脈ヲ分チテ、北岸ナル  
連山ノ峽間ヲ穿チ、二里ニシテ、江角港ニ注ク、仍テ小舟  
ノ通運スルヲ得タリ、湖水ハ、兩岸打開ケ、兩神奈備山  
左右對峙シテ、中間ニ里計、娶島其中央ニアリ、湖面一白

惟此一青嶼アルル之、此地元龜田山ト云フ、尾子氏ノ  
近方數國ヲ并有セル時、其居城ヲ富田トナス、三世五十  
年、毛利氏ノ圍ヲ受クルモ、尚七年ノ久ヲ保チシ處ニテ、  
堀尾氏ノ封國トナルニ及ビ、其城郭ヲ龜田ニ移シ、始テ  
今稱ニ改ムト云フ、

石見ハ、安濃<sup>アノ</sup>通摩<sup>トモ</sup>邑<sup>チ</sup>智<sup>チ</sup>那<sup>ナ</sup>賀<sup>カ</sup>美<sup>メ</sup>濃<sup>ノ</sup>鹿<sup>カ</sup>足<sup>シ</sup>ノ六郡ナリ、  
山陰ノ西隅ニ居ル國ニシテ、海岸四十里ナレト、南北ハ、  
十餘里ニ過ギズ、國中ハ、山岳重リテ、沿海ノ地モ、亦平坦  
ナラズ、正南ハ、安藝ニ接シ、國境ハ、大率禿山ニシテ、草木  
繁茂セス、冠山<sup>ミツイシ</sup>、三石山<sup>ミツイシ</sup>、其中ニ高シ、其脈西ニ亘リテ、青野

山トナル、又芋山ト唱フ、其隅ヲ佐比賣山ト云ヒ、直ニ長  
門ノ徳佐峯ニ連ル、○東南隅ハ、山谷ノ際ニ静窟岩<sup>シヅク</sup>、龍等  
ノ勝地アリ、三國山<sup>ミクニヤマ</sup>高ク聳エテ、備後出雲ノ界ニ秀ツ、三  
瓶山<sup>ベヤマ</sup>特ニ高峻ニシテ、其連峰ニ帶、東境ヲ限リタリ、○海  
岸ハ、矢瀧城<sup>ヤタキ</sup>、山<sup>シ</sup>、大麻山<sup>オホアサ</sup>、星高山<sup>ホシタカ</sup>、高津山<sup>タカツ</sup>、及通摩<sup>トモ</sup>、銀山<sup>ギン</sup>等、相峙  
チ、川流十餘、其峽間ヲ環流シテ、各北ニ下リ、直ニ海ニ入  
ル、福光<sup>フクミツ</sup>宇屋<sup>ウヤ</sup>下府<sup>シモクラ</sup>岡崎<sup>オカサキ</sup>木部<sup>キベ</sup>ノ諸川ハ、大率細流ニシテ、和  
田川<sup>ワタガハ</sup>ハ、東隅ノ浮布沼<sup>ウキヌマ</sup>ヨリ出テ、大田川ト合ヒ、大浦ノ  
東ニ入ル、行恒川ト云フ、大國川ハ、通摩津ニ注ギ、大橋川  
ハ、外浦ニ入ル、此其稍大ナル者、周布川ハ、安藝ノ界ニ出

テ、大麻山ノ東ヲ遶リ、津摩浦ニ至リテ、海ニ入ル。高津  
川ハ、源ヲ周防ノ境ニ發シ、芋山ノ下ヲ東流シ、津和野ノ  
城市ヲ過キテ、北ニ轉ジ、横田川ト合ヒ、二股川トナリ、共  
ニ高角山ノ麓ニ至ル。海口ヲ高津浦ト云フ。此二河ハ、其  
流各十餘里ニシテ、更ニ其大ナル者ナリ、而テ其最大ナ  
ル者ヲ、郷川ト云フ。安藝ノ吉田川、備後ノ三次川ト合流  
シテ、兩國ノ界ヨリ、斜ニ國ノ中央ヲ貫キ、西北ニ流ル。  
二十里、東南ノ衆流悉會流ス。星高山ノ麓ニ至リ、北ニ折  
レテ、江津ニ入ル。故ニ江川ヲ正稱トナス。其河幅二百間  
源流ニ遡レバ、五十里ノ長流タリ。兩道中、又此大河ナシ。

故ニ國名ヲ呼ビテ、石見川ト云フ。  
海上、一帯ヲ又石見潟ト呼ブ。其名稱ハ、西海ノ松浦潟筑  
紫潟ト同クシテ、北陸ノ湖沼ヲ唱フル者ト異ナリ。海濱  
ハ、岩石ノ連リタル荒磯ナレド、大ナル岬角ナク、島礁數  
十相列リ、其中央ニアリテ、漸遠キ者ヲ高島ト云フ。周回  
四里〇港灣ハ、外浦ヲ第一トナス。瀬戸、矢野及馬島ノ三  
島、其前面ニ並ヒ、濱田ノ城市、其岸ニ臨ミ、一都會ノ地タ  
リ。西ニ小岬ヲ隔テ、長濱浦ニ連ル。瀬戸島ト、三處皆碇  
泊ノ便アリ。此他ハ、江津、適摩津、高津等、河港ナレド、淺小  
ニシテ、大船ヲ繫ク能ハズ。波根湖、東隅ノ海濱ニ接シテ、

海水相通スレ氏湖口亦舟泊ノ地ニ堪ヘズ大浦僅ニ港  
 灣ノ用ニ供ス可シ温泉津ハ浴場ナルヲ以テ頗繁盛ノ  
 街市ナリ且銀山ト相距ル二里計其山ハ矢龍城山ニ連  
 リ礦場ノ輸出ハ皆此港内ニ送致スト云フ  
 隱岐ハ周吉隱地ニ郡ヲ北ノ大島トシ海士郡ヲ中央  
 ノ一島トシ知夫郡ヲ西南ノ兩島トナス總テ四郡  
 一國四島ニシテ出雲ノ海上十四里ニアリ南ノ三島ハ  
 知夫里島周回六里西島二十里中島十六里總稱シテ島  
 前ト云フ北ノ一島頗大ナリ沿岸三十里是ヲ島後ト云  
 フ前後相距ル四里群島其間ニ並列シ松島特ニ大ナリ

沿回ニ里其他ハ大森音部ニ股星上ノ諸島ニシテ其東  
 海上ニ小島ノ散布セル者ヲ隱岐ノ小島ト呼ブ  
 知夫里ハ最南ノ島嶼ニシテ南ニ向ヒテ良港アリ島ト  
 其名ヲ同クス舟泊ノ由入共ニ此港内ニ由ルヲ以テ頗  
 輻湊ノ處ナリ○西島ハ知夫里ト赤灘瀨戸ヲ隔ツ峽間  
 最狹ク島形兩地ニ分レテ船越ノ地峽相接ス燒火山中  
 央ノ南端ニ峙チ浦郷港ハ地峽ノ西ニアリテ亦南向ノ  
 港泊ナリ此島ハ後醍醐帝行宮ノ舊趾アリ今尚黒木御  
 所ト唱フ而テ後島羽上皇ノ崩處ハ中島ニアリテ刈田  
 又其葬地トナス○中島ハ飯加長前ノ兩岬左右ニ突出



北言要略 卷之四  
ス、知々井ノ港口モ、亦南ニ開キテ、大船ヲ繫ク可シ、  
大満寺<sup>ガハモシジ</sup>大峯<sup>オホノミネ</sup>ハ、島後ノ大山ニシテ、又摩尼山<sup>マニサン</sup>ト云フ、横尾  
山其西ニ對立シ、全島皆山ナリ、其西南溪間ニ、壇鏡<sup>ダンキョウ</sup>那知  
ノ兩瀑布アリ、下流直ニ海ニ入ル、沿岸、大率岩礁斷崖ニ  
シテ、岬角四出シ、白島<sup>シラシマ</sup>那久<sup>ナク</sup>ノ諸岬、頗大ナリ、西郷崎<sup>セイヤ</sup>最高  
ク南方ニ突起ス、港灣モ、亦西郷港ヲ第一トナス、故ニ隱  
岐港ノ稱アリ、灣口、東南ニ向ヒ、出雲ノ美保關ニ至ル海  
程四十八里アリト云フ、港内ハ、沿岸一里東郷、西郷ノ兩  
邑、其岸ニ臨ミ、八尾川<sup>ヤタ</sup>源ヲ大峯ニ發シテ、灣内ニ注ク、其  
他ノ舟泊ハ、南岸ニ、加茂箕浦<sup>カモヒノ</sup>アリ、西岸ニ福浦<sup>フク</sup>アリ、抑此

國ハ、日本海中西邊ノ絶島ニシテ、其西北洋中ニ、松島竹  
島ノ兩島アリ、共ニ朝鮮地方ニ接近スレバ、亦居民統屬  
ナク、各方ノ人、時ニ來リテ、海獵ノ場トナスト云フ、  
物産

但馬石見ノ銀礦、及伯耆出雲ノ銅鐵、是ヲ全道第一ノ産  
トナス、邑智<sup>チ</sup>刃金<sup>ヤ</sup>モ、亦良品ト稱ス、其他石炭、砥石ノ類ヨ  
リ、蠟、漆、果實、蜂蜜、葎、繩、葛粉等ハ、共ニ山多クシテ、平野ノ  
少キヲ證ス可シ、故ニ蠶業殊ニ盛ニテ、且山繭ヲ養フ、又  
茶藍ノ産アリ、丹波烟草、丹後縮、伯州木綿、石見紬、及米子  
總等、其最、有名ナル物ニシテ、紙ハ出石ヲ多品トナス、而

テ魚獵ハ海ニ鯽鯖鯛烏賊ノ屬アレ氏、松江鱸ノ最美味  
ナルニ若カズ、獸畜ハ、七味郡ノ牛、頗良産ニシテ呼ビテ  
北代牛ト云フ、海草ハ城崎海苔十六島海苔ヲ奇品トシ  
藥草ハ出雲ノ御種人參ヲ輸出ノ多キ者トス、但馬ノ柳  
行李ハ豊岡ニ製シ、因幡ノ白珊瑚ハ浦住ヨリ出ス、一ハ  
衣筐ノ使用ナル者ニシテ、一ハ食箸ノ賞玩ス可キ者ナ  
リ、隱岐ノ山中ハ、樅板桑板ヲ出シ、海産ハ鰯鮑海參及和  
布荒布ノ數品ニ過ギズ、其地タルヤ、猶北陸ノ佐渡ノ如  
シ、然レ僅ニ鐵坑一處アルノミ、島後ノ大平山、今試開ニ  
屬スト云フ、

播磨ハ、明石加古、印南、美濃多加、神崎加茂、飾磨、揖保、宍  
粟、佐用、赤穂ノ十二郡ナルガ、神崎以下四郡、各分レテ、  
今加東、加西、神東、神西、飾東、飾西、揖東、揖西ト云フ、  
山陽ノ咽喉ニシテ、山陰ニ通ズルモ、亦二丹ノ外ハ、皆是  
ヨリ官道ヲ起ス、其兩道中間ノ連山ハ、即全國ノ脊梁ニ  
シテ、丹波ヲ包ミテ、東ヨリ來ル、豹山、其中央ニ跨リテ、山  
脈中ノ高岳タリ、兩三國山相列リ、其山脈再美作ヲ圍ミ  
テ、西ニ走ル、故ニ北境ハ、其兩山國ノ間ニ當リ、黒尾山、雪  
彦山、笠形山等、相聳エテ、但馬因幡ト相接スル處、最重疊  
セリ、東ニ亘リテ、引尾、鳴尾、五峯ノ諸山、相並ビ、三草山、御

岳山國境ニ列リテ、丹波攝津ノ界ヲ限レリ、其間ニ嬉野  
西野等ノ高原アリ、連山一帶、其南ヲ遮ル者ハ、攝津ノ再  
度鐵拐ノ山脈ヲ承ケテ、神出山兩峯雙立ス、雄子尾雌子  
尾ト云フ、西北ニ亘リテ、高御位山ニ連ル、法華山其背ニ  
峙ツ、此連峯ノ南ハ、仰南野明石浦相連レド、地幅甚狹シ  
増位山ハ、法華山ノ西ニ立チ、廣峯彌高峯等、接屬シテ書  
寫山ニ連ル、是ヲ中央ノ高山トナセ凡、其峯共ニ峻險ナ  
ラス、○海濱ハ、大率平坦ニシテ、海上ハ、四國ト相向ヒ、淡  
路島其東ヲ限リ、小豆島其西ヲ遮リテ、中間十餘里家島  
群島ノ外、又島嶼ナシ、是ヲ播磨灘ト云フ、

川流數條、皆東北ヨリ来リテ、各海ニ入ル、市川ハ、但馬ニ  
出デ、岡部川ヲ并セ、中央ヲ流ル、十二里、兩川ニ分レ  
テ、姫路ノ城市ヲ夾ム、木流ハ、麻生山ノ麓ヲ過キテ、阿成  
瀬ニ注ク、其幅殆二百間、是ヲ國中ノ大川トナス、古飾磨  
川ト呼ビシ者、是ナリト、而テ支流ヲ板川ト云ヒ、其海口  
ヲ、飾磨津トナス、河口ノ西ニ、青山川アリ、源ハ雪彦山ヨ  
リ出デ、小鹽川ト云フ、書寫山ノ東麓ヲ下リ、其西麓ヲ  
遶リ来ル、夢前川ト相合ヒテ、青山手野ノ間ヲ流ル、故ニ  
其名アリ、○加古川ハ、丹波久下川ノ下流ニシテ、荒田川  
ニ合ヒ、五峯ノ麓ヲ遶リテ、瀧野川ト呼ブ、河中、岩石並ヒ

地言五冊  
時チテ、急流激湍ナリ、三草川、東條川、三木川、皆攝津ノ界ヨリ来リ、西下シテ合流ス、源ヨリ凡十九里、即南野ノ東ヲ限リテ、高砂浦ニ入ル、又一派ヲ西ニ分チテ、荒井川ト云フ、其河口以西ハ、海岸、炭礫ニシテ、石寶殿、曾根、松等ノ勝地相連リテ、阿成瀬ニ達ス、麻生山、其岸ニ聳エ、形似ヲ以テ、播磨ノ小富士ト云フ、○揖保川ハ、上流ヲ宍粟川ト云フ、蓋過タル所ノ郡名ニ因リテ、其稱ヲ異ニス、約山ヨリ出デ、西谷川、御方川ヲ合セテ、立野ノ城市ヲ過ギ、南下スル十五里ニヒテ、海ニ入ル、千種川ハ、三國山ノ間ニ發シテ、西南ニ下リ、美作ノ界ヨリ出ヅル、上津熊見、久崎ノ

諸川ヲ集メテ、白旗山ノ麓ヲ流レ、環流十五里、赤穂城外ニ至ル、網崎ツチサキ其海口ノ西ニ出デ、備前ノ境ヲ限レリ、海岸ノ、港灣極テ多シ、室津ハ、有名ノ舟泊ニシテ、古ヨリ山陽ノ要港ト稱ス、金崎カナガキ突出シテ、灣内大船ヲ繫ク可シト雖、港市ハ、飾磨津ヲ盛ナリトナス、家島其海上ニ立チ、周回二里、北ニ向ヒテ、港灣アリ、相隔ル三里計、故ニ舟船ハ、風ノ順逆ニ因リテ、互ニ相碇泊ヲナス、其屬島二十、男鹿坊勢オノカ及西島等、共ニ沿岸一里餘、其他鞍掛院ササケイデン下ノ諸島、其左右ニ竝列セリ、○坂越港サカノコシハ、室津ノ西ニ在リ、兩港ノ間ハ、岬灣出入シ、相生アイオイ佐方ノ諸浦ハ、海水深ク入り、沿

岸殆十里法師崎尾崎並ビ出テ、坂越ノ港口ヲ擁ス、尾崎ノ西ヲ新濱ト云フ、即千種川ノ海口ナリ、○高砂ハ、加古川ノ海口ナル港灣ニシテ、二見明石ノ兩港其東ニ並ビ、沿濱八里、攝津ノ界ニ達ス、明石浦モ、亦都會ノ地ニシテ、一水源ヲ神出山ノ奥ニ發シ、城市ノ間ヲ流レテ海ニ入ル、明石川ト云フ、平時水ナク、攝津ノ湊、川藻ノ諸川ト相同ジト云フ、其海濱ハ、須磨浦ニ接シ、青松白沙、相連ル數里、舞子濱ト云フ、淡路島其前面ニ當リテ、海峽ヲ夾ム、直徑一里、是ヲ明石瀨戸ト云フ、  
姫路ハ、舊名ヲ姫山ト云フ、赤松圓心ノ、建武功臣ヲ以テ、

叛キテ、王師ニ抗スルヤ、城郭ヲ白旗山ニ築キ、別ニ兵ヲ舟坂山ニ分チテ、山陰山陽ノ兩道ヲ絶ツ、足利氏ノ志ヲ得ルニ至リ、遂ニ此國ヲ全領シ、其族小寺氏ヲシテ、常ニ姫山ヲ守ラセシトゾ、羽柴氏ノ封國トナルニ及ビ、其地ニ就キテ、居城ヲ定メ、城櫓ヲ大ニシ、後池田氏ニ賜ヒテ、始テ今稱ニ改ムト云フ、此地ハ、山陽ノ要口ニシテ、中國西國ヨリ、京畿ニ至ル者、共ニ茲ニ由ラザルナシ、其山陰ノ道路ハ、但馬ノ生野ニ達スル十里ニシテ、因幡及出雲ニ至ルノ官道ハ、兩路ヲ美作ニ通ズ、共ニ國境ニ至ル十餘里、街市ノ繁盛ナルヲ、廣島ノ外、全道復其比ナシ、

美作ハ、英多<sup>イタ</sup>吉野<sup>キノ</sup>勝南<sup>シウナン</sup>勝北<sup>シウペク</sup>久米<sup>クミ</sup>南條<sup>ナンジョウ</sup>久米<sup>クミ</sup>北條<sup>キョウ</sup>東南條<sup>トウナンジョウ</sup>  
 東北條<sup>トウキョウ</sup>西條<sup>セイジョウ</sup>西北條<sup>シキョウ</sup>真島<sup>マシマ</sup>大庭<sup>オホナガ</sup>ノ十二郡ナリ、  
 和銅六年備前ノ英多<sup>イタ</sup>勝田<sup>カトタ</sup>苦田<sup>クツタ</sup>久米<sup>クミ</sup>大庭<sup>オホナガ</sup>真島<sup>マシマ</sup>六郡ヲ割  
 キテ此國ヲ置ケリ、然レ其郡名ノ轉變且三字四字ノ如  
 キハ他國ノ多クナキ所ナリ蓋吉野ハ英多ヨリ令レ勝  
 田ハ南北兩郡トナル久米モ亦南條北條ニ分割ス、苦田  
 ハ苦東<sup>クツトシ</sup>苦西<sup>クツシ</sup>ナリシガ更ニ分レテ四郡トナル、惟真島大  
 庭ノ二郡其舊規ヲ變ゼズト云フ、  
 四圍皆山ナリ、北境ハ大山脈ノ最重峻ナル處ニシテ、四  
 箇山ノ脈但馬播磨ノ間ヨリ来リ、三國山<sup>ウツノヤマ</sup>後山<sup>コトヤマ</sup>雜倉山<sup>カサヤマ</sup>共

ニ東北隅ニ聳エ、奈木能山<sup>ナキノセ</sup>更ニ高峻ニシテ、正北ニ秀ヅ、  
 其間ニ志戸坂<sup>シトサカ</sup>黒尾<sup>クロビ</sup>尾<sup>ビ</sup>ノ峻路アリ、是ヲ因幡ノ通路トナ  
 ス、其西ノ一峯伯耆ニ亘ル者モ亦三國山<sup>ウツノ</sup>ト云フ、入形山<sup>イリガタ</sup>  
 高ク國境ニ立チテ、山麓ニ岩井瀧アリ、高百餘丈、泉山<sup>イヅミ</sup>其  
 前ニ聳エ、群山相重リテ、西北ノ境ニ亘リ、蒜山<sup>ヒル</sup>峙チテ、兩  
 國ニ跨ル、其脈遂ニ大山ノ脊ニ接ス、四十曲ノ險坂、其南  
 麓ヲ穿チテ、僅ニ出雲ノ道路ヲ通ス、其連峯環リテ、西境  
 ヲ圍ム、一水、其山脈ノ峽際ヲ貫キテ、西ヨリ来ル者ヲ、備  
 中川ト云フ、○高峯<sup>カウノミチ</sup>ニ上ノ兩山ハ、正南ノ中央ニ並ビ立  
 チテ、國境ヲ限ル、兩大河、其左右ヲ流レ下リ、南ニ赴キテ、

備前ニ入ル、備前ノ界ニ、梨木岨ナシキアリ、播磨ノ境ニ、萬能岨マンネス  
 杉木岨スキノキアリ、岨ハ方言ニシテ、猶岨ト云フガ如シ、其萬能  
 ハ、出雲ノ通路ニ當リ、杉木ハ因幡ノ官道ナリ、  
 河流ハ、東中岳ノ三條相集リテ、二川トナル、其西方ノ一  
 川ヲ、高田川ト云フ、源ヲ大山蒜山ノ深谷ニ發シ、神庭乃  
 登呂等ノ瀑布ヲ并セテ、勝山城外ヲ遶ル、故ニ勝山川ト  
 云フ、又郡名ニ因リテ、城市ト共ニ真島ト呼ズ、更ニ下リ  
 テ、備中川ニ合ヒ、其流十三里、是ヲ西川トナス、○津山川  
 ハ、岩井瀧ヨリ出デ、三國山ミツニ泉山イミカセノ溪流ヲ集メテ、南ニ下  
 ル、院庄ニ至リ、折レテ西ニ赴キ、久米山クメノ山ヤマノ麓ニ流レテ、

津山ノ城市ヲ過ク、始テ其川名アリ、又院庄暮田等ノ稱  
 呼ヲ用オタリ、院庄ハ、後醍醐帝ノ隱岐ニ徙サル、時、免  
 島高德詩句ヲ其館樹ニ記シ、處ニテ、今其舊趾ニ就キ  
 テ、櫻神社ヲ奉祀ス、津山ハ、一都會ノ地ニシテ、兩地ノ間  
 一里計、行松相連リ、河水ヲ隔テ、血山ト相對シ、頗勝景  
 ノ地ト稱セリ、河面川ハ、奈木能山ノ脈ニ發源シ、西南ニ  
 流レ来リテ、津山ノ東ニ會ス、川流爲ニ南ニ轉ジ、國ノ中  
 央ヲ流レ下ル、故ニ中川ト云フ、環流十里、東川、東ヨリ来  
 リ入ル、其相合フ處ヲ、國界トナス、東川ハ、上流ヲ吉野川  
 ト云フ、東北隅、重山ノ間ニ出デ、梶並川ト並ビ流レテ相

合流ニ始テ東川ノ稱アリ

國中岩石多クシテ兩岸大率險崖ナリ、河流ハ、共ニ奔激

ナレ氏、其水甚清冷ヲ極々、中川ノ山伏谷地藏岩及西隅

ノ神代洞等最奇絶ノ處トナス且沼池温泉モ亦多シ、勝

間田壺井大澤ノ三ト、各流レテ上ノ二川ニ入ル共ニ

周囲一里ニ充タズ浴場ハ西北ニ湯原真加真津ノ三湯

アリ、而テ湯郷ハ中央ニシテ浴客頗盛ナリト云ス

備前ハ八郡ニシテ、御野津高赤坂磐梨和氣邑久上道

免島ト云フ

吉備ハ山陽ノ一大國ニシテ、上古ハ殆全道ノ泛稱タリ

シガ後分レテ備前備中備後ノ三國トナリ、更ニ美作ヲ

割キ置カレシカバ此國ノ封境最狭小ニテ、東ハ三石峠

ヲ限リテ、播磨ニ界ス、即舟坂山ナリ、西ハ鯉山ヲ以テ備

中ニ接ス、是ヲ吉備中山トナス、其間十四里南北ハ兩大

川ノ流路共二十餘里ニ過ギズ、其地勢ハ、内海ノ涯ニ沿

ヒテ、西ニ亘リ大率平坦ニシテ、備中大川ノ岸ニ至ル迄

又連山ナン、溝渠ノ設開墾ノ功其法早ク行ハレテ、河運

水漕ノ便最盛ナリ、而テ沖新田ノ如キハ、内海中ニ石堤

ヲ築キテ、奔潮ノ衝ヲ禦キ、兩河口ノ間四里新ニ六萬石

ノ平田ヲ開キタリシト云ス



大王龍天ノ兩山ハ、北境ノ中央ニ聳エ、東ハ八塔寺山ニ  
連リ、西ハ加茂山ニ接シテ、美作ト兩國ノ經界ヲ限レリ、  
兩條大河其中間ヲ下リテ、南ニ流ル、其河岸又多クハ險  
絶ナリ、吉井川ハ本名ヲ吉備川ト云フ、美作ノ中川東川  
ノ合流セル者ニシテ、行舟常ニ津山ヨリ上下ス、其下流  
熊山ノ麓ヲ過ギテ、山圍始テ解ケ、二里ニシテ、内海ニ入  
ル、河口ノ港市ヲ西大寺ト云フ、故ニ又西大寺川ノ稱アリ、  
是ヲ東大川ト呼ブ、西大川モ亦、美作真島川ノ末ニシ  
テ、朝日川ト云ス、國境ニ沿ヒテ下リ、南ニ赴キテ、金川ニ  
至ル、其地ハ、山間ノ小都會ニシテ、美作ノ要路ニ當レリ、

水流ハ、更ニ屈曲シテ、金山ノ麓ヲ過ギ、兩岸漸平ナリ、岡  
山ノ城市ヲ貫キ、一里ニシテ、福島港ニ注グ、亦内海ノ舟  
泊ナリ、兩大河ノ間ニ、瀬戸川アリ、源ヲ大王龍天ノ兩山  
ニ發シ、南ニ流ル、數里ニシテ、沖新田ノ中央ニ入ル、  
岡山ハ、浮田氏ノ居城ヲ定メザル以前ハ、石山ト呼ビシ  
小城ナルガ、其地河ヲ帶ビ、海ヲ擁シ、要害アリテ、且便利  
ノ處タルバ、遂ニ一都會トナレリ、池田氏ノ來リ、沼ムル  
ニ及ビ、心ヲ民政ニ用キ、其水利墾田、皆其施設スル所ニ  
係ル、又學校ヲ閑谷ニ建テ、厚ク文教ヲ敷クト云フ、  
兎島ハ、南海上ニ横ル大島ニシテ、即一郡ノ地ナリ、東西

十里計、周回三十五里、其西北ノ端陸地ト相距ル四五町、  
藤戸渡ト呼ビ、佐々木盛綱ノ騎涉ヒシ處ナリシガ、其海  
底ノ淺砂漸塞リ埋ル、ニ依リ、又開墾シテ、數里ノ水田  
ヲ開キ、直ニ備中ニ連レリ、尚一條ノ川流ヲ存シテ、其國  
界トナス、故ニ島ノ北岸ハ、海水ヲ抱キテ、自一ノ内海ヲ  
ナス、其沿回、二十里餘、高島、鳩島、其中央ニ峙ツ、海口ヲ米  
崎ト云ヒ、東西ニ分稱セリ、全島皆山ナリ、常山北岸ニ臨  
ム、兒島高德ノ城趾タリ、高德ハ、建武中興ノ日ニ當リ、勤  
王ノ志、百折屈セズ、其始ヤ、熊山ニ據リテ、舟坂ノ賊軍ヲ  
破リ、其終ヤ、此山ニ築キテ、恢復ヲ謀リシトゾ、是ヲ島中

ノ高山トナス、西南ニ瑜伽山アリ、其山麓ヲ遠リテ、下津  
井田浦日比ノ諸港アリ、其沿岸ハ、四國ト相對シ、海幅甚  
狭クシテ、四五里ニ充タズ、島嶼其間ニ散布シ、大槌小槌  
ノ兩島ハ、讚岐ト、領屬ヲ分チテ、其中央ニ並ブ、峽間ヲ槌  
戸ト云フ、其西ハ、釜島、大島、六口島等、並列シテ、同國ノ鹽  
飽諸島ト相交リ、石島周回二里ニシテ、兩屬ノ地タリ、槌  
戸ノ東モ、亦其直島群島ニ近接シテ、高島、豎場島等、頗大  
ナリ、其海岸ハ、東ニ向ヒテ、北端ヲ西米崎トナス、  
東米崎ハ、外場崎ト呼ブ、以東ノ海岸ハ、小豆島其前ニ當  
リ、還ニ播磨灘ニ向フ、其海岸二十七里、亦大小ノ島嶼相

連接シテ、海峽、港泊、共ニ多シ、鹿久居島最大ナリ、周回七  
 里、長島五里、其他ハ、前島頭島曾島香島等、各一二里計大  
 多府島ニ大漂港アリ、長島ハ、蟲明瀬戸ヲ夾ム、前島ハ、牛  
 窓港ノ前ニ横リ、其海峽ヲ、牛窓瀬戸ト云フ、其港ハ、國中  
 第一ノ良泊ニシテ、最繁盛ノ處トナス、  
 備中ハ、都宇窪屋、淺口、賀陽、下道、小田、後月、川上、上房、阿  
 賀、括多ノ十一郡ナリ、  
 國形狹長ニシテ、東西ハ十里ニ充タザレド、其南北ハ、河  
 邊川、其中央ヲ流レ下ル三十里、即甲部川ナリ、其源ヲ伯  
 耆備後ノ界ナル三國山ニ發シ、同境ニ連ル劍山、君山、及

大畑、三室、花見等、其大山脈ノ間ヨリ出ヅル者、又大佐赤  
 瀧、諸山ノ溪流等、悉集リ、南ニ流レテ、高梁川トナリ、松山  
 ニ至リ、河中ニ、蟻瀬、蜂瀬ノ急湍アリテ、往々行舟ニ害ア  
 リ、成羽川、備後ニ出テ、西ヨリ流レ來リテ相合フ、是ヨリ  
 流路ヲ、東南ニ轉ジ、河邊ニ至リテ、矢掛川ヲ并セ、更ニ分  
 レテ、兩派トナリ、連島ヲ抱キテ各海ニ入ル、此川、湛井川  
 ト云ヒシガ、其河邊ノ官道驛路タルヲ以テ、遂ニ其通稱  
 トナレリ、今ハ直ニ大川ト呼ビ、其幅二百五十間、一國ノ  
 水、此河ニ注ギ入ラザル者ハ、惟東隅ノ大井川ノミ、却テ  
 長良川ヲ納レテ、其今派ヲ受ク、其川ハ、東南ヲ環流シテ、

備前ノ内海ニ入ル、其河口ヲ天城ト云ヒ、倉敷ト共ニ小都會ノ處ニシテ、其南ハ直ニ兒島ノ西北ニ接セリ、國中、山岳多ク連リテ、東南一隅ニ、數里ノ平坦アルノミ、吉備中山、其東北ニ立チ、形ヲ以テ、鯉山ト呼ブ、其後山、國界ヲ限リテ、龍王山、其上ニ峙ツ、西麓ヲ、高松ノ故城トナス、釋迦峯、其南ニ聳エタリ、即羽柴氏ノ水攻ヲ施シ、處一テ、河邊川ノ水ヲ引キテ、峯陰ヨリ、大井川ニ注ギシトゾ、長良川是ナリ、其北ハ、岩屋山、合谷等、奇勝ノ地、相連リテ、雞足山、高ク中央ニ峙ツ、高倉山、峻秀ニシテ、相並ビ、其山麓ハ、即松山ナリ、一都會ノ城市ニシテ、今高梁ト改稱

セリ、川ヲ隔テ、阿部山ト相對ス、其岸下ヲ、成羽川、合流ノ處トナス、○彌高山ハ、西境ニ秀テ、其背ハ、備後ニ跨ル、東ハ、大倉山ニ連リテ、西隅ノ地勢ヲ限ル、江原川ハ、成羽川ト、其源ヲ同クシテ、亦東ニ流ル、惟此連山ニ依リテ、其流路ヲ異ニスルノミ、即、兵掛川ノ土流ナリ、海岸モ、一帯ノ連山、相並ビ、東ニ二萬山アリ、西ニ應神山アリ、遥照山、其中央ニ高ク聳エテ、辨行ノ目標トナレリ、其沿海ノ地ハ、大率遠淺ニシテ、玉島笠岡ノ兩港アレヒ、共ニ大船ヲ繫ク能ハズ、笠岡ハ、片島、其前面ヲ遮ルヲ以テ、稍碇泊ノ便アリト云フ、○御岳、東山ハ直ニ岸上ニ峙

チテ、神島ト海峡ヲ夾ム、蟬戸ト云フ、峡内ニ、小戸洲、大戸洲アリ、其奥ハ、即笠岡ノ港灣ナリ、神島ハ、周回五里、高島其南ニ峙ツ、沿回一里半、是ヲ神武帝行宮ノ舊趾トス、群島其外面ニ散布シ、北木、真鍋及大島、六島、飛鳥等相並ビテ、備後讃岐ノ島嶼ト相交ル、水島ハ、上下ノ兩島アリテ、備前ト兩屬セリ、白石ハ、其最西ノ海中ニ屹立シテ、周回二里餘、島中ノ巨石白雪ヲ積ムガ如シ、故ニ此名アリトシ、其間海水數里相隔ルモ、尚是ヲ水島灘ト呼バ、備後ハ安那、深津、沼隈、御調、葦田、品治、神石、世羅、三次、三谿、甲奴、三上、惠蘇、奴可ノ十四郡トス、

御神山ハ、中央ニ聳エ、山中ニ、巖石多ク、石橋最奇絶ニシテ、鬼橋ト呼フ、其地帝釋寺アルニ因リ、又帝釋ノ神橋ト云フ、是ヲ國中第一ノ高峯トナス、星居岡田及高山、岳山等、其南ニ並ビ、東ハ龜岳、蛇園ノ諸山トナリ、西ハ宇根、天神ノ兩岳ニ連ル、此中央ノ連山ヲ以テ、一國ノ地勢ヲ、南北ニ分ツ、神石以下ノ八郡ハ、共ニ山北ニアリテ、其正北ハ、出雲ニ接シ、大鐘、高野、女龜、阿圖馬ノ諸山、相重リ、美古登山、其中ニ高シ、鳥上山ハ、伯耆ニ跨リ、三國山ハ、石見ニ接ス、共ニ國境ノ高山ナリ、多飯、辻岳、猫山ハ、東ニ亘リテ、備中ノ界ヲ限ル、安藝ノ境ハ、三次ノ大河、國境ヲ流ル、

六里ニシテ、石見ノ郷川トナル、九紋岳其河岸ニ聳エテ、  
三國ノ界ヲナス、

東城、西城ノ兩川ハ、共ニ伯耆ノ界ヨリ出デ、東西ニ分  
ル、東城ハ、東ニ赴キテ、流ル、七十餘里、備中ノ成羽川是  
ナリ、西城ハ、西ニ下ル數里、門田ニ至リテ、始テ舟運アリ、  
故ニ門田川ト云フ、原川ハ、高山、御神ノ山谷ニ出ヅル者、  
相集リテ、東南ヨリ流レ來ル、櫃田川ハ、源ヲ阿圖馬山ニ  
發シ、北流シテ、來リ會ス、安藝ノ吉田川モ、亦西南ヨリ合  
流ス、四川共ニ三次ニ集リテ、一大河トナル、故ニ三次川  
ト云フ、即郷川ノ上流ナリ、○中央以南ノ水流ハ、皆集リ

テ、葦田川トナル、天神岳ニ出ヅル者ハ、西ヨリ流レテ、高  
山ノ麓ニ至リ、星居山ヨリ來ル者ト、相合ヒ、仍テ折レテ、  
南ニ下ル、御調川ハ、西境ニ發源シ、亦西ヨリ流レ入ル、其  
合流スルヤ、東ニ轉ジテ、神谷川、鐘池等、皆注ギ入ル、更ニ  
備中ノ界ヨリ來ル加茂川ヲ、鶴橋ニ并セ、再南ニ赴キテ  
海ニ入ル、其流、十餘里以上、三川ノ外ハ、東隅ノ芳井川、獨  
東下シテ、備中ノ江原川トナルノニ、  
海岸ハ、港灣多クシテ、數十ノ群島相並ブ、其大ナル者ハ、  
周回十里、是ヲ院島ト云フ、向島是ニ次グ、沿岸、七里、田島  
四里、又其次タリ、而テ、篋島、横島、百島、鱒島、走島ハ、二里ニ

シテ、大細宇治仙醉等モ、亦里餘ノ島嶼タリ、其海上ハ潮水ノ阿波鳴戸ヨリ来ル者、長門早鞆瀬戸ヨリ入ル者ト相逢ヒテ、各退キ去ル、故ニ走島ト、備中ノ白石ノ間ヲ出逢ノ潮ト云ヒ、其以西十餘里ノ間ヲ火打灘ト呼ブ、鞆津ハ、有名ノ港泊ニシテ、西海航路ノ要津ナリ、西ニ阿武戸ノ岬屹立シテ田島ト、海峡ヲ夾ム、是ヲ觀音崎ト云フ、仙醉皇后ノ兩島ハ、港ノ東南ヲ擁シ、港市繁盛ニシテ、福山ノ城市ト、相距ル三里、福山ハ、一都會ノ地、山陽ノ中央ニ居リテ、東西ノ要ニ當ル、建武末、大江田氏經ノ據リテ、中國ヲ鎮定セシ處ナレ、氏、足利尊氏ノ九州入軍ヲ收

メテ、舟師東上スルニ及ビ、鞆港ヨリ、兵ヲ海陸兩路ニ分チテ、福山ヲ陷レ、仍テ全道ノ官軍、遂ニ支フル能ハザリシトゾ、葦田川兩地ノ間ニ流レ、其海口ニ叢島崎チテ、宮崎ト相對ス、島北ノ砂洲、相連リテ、陸地ニ接スル故ニ、今其河口ヲ夾ミタリ、○尾道ハ、向島ト相對スル港泊ニシテ、峽間ニ里、皆舟泊ス可シ、鞆津ハ、運輸ノ出入、其盛大ヲ致セ、此港ノ安穩ナルニ若ナズ、故ニ滯泊ノ久シキ者、皆港内ニ集レリ、港東ニ、今津ノ入江アリ、戸崎出テ、其灣ヲ抱キ、三成、今津ノ諸川、注キ入り、藤江、柳津ノ諸浦、其岸ニ臨メ、舟泊ノ地ニアラズ、三原ハ、西隅ノ城市ニシ

テ安藝ニ接シ小早川隆景ノ居城セシ處今尚小都會ヲ  
ナス尾道ト相距ル沿海四里計蜂峯其上ニ聳エ糸崎永  
井浦等相連リ海上ハ院島横リテ安藝伊豫ノ諸島ニ相  
交リ風色ノ美ナルヲ須磨明石ニ次クト云フ

安藝ハ八郡ニシテ豊田加茂安藝沼田佐伯高田高宮  
山縣トナス

廣島ハ兩道第一ノ大都會ニシテ人口八萬街市相連ル  
一里計其繁盛ナルヲハ名古屋金澤ニ若カズト雖凡尚  
仙臺熊本ノ上ニ出デタリ大田川北ヨリ来リ分レテ猫  
屋元安京橋猿猴ノ四川トナリ各城市ハ間ヲ貫キテ海

ニ入ル此地元五箇庄ト云ヒテ海濱ノ砂原ナリシガ毛  
利元就ノ中國ヲ跨有スルニ當リ吉田ノ舊城ヲ遷シテ  
後今稱ニ改メント云フノ海岸ハ地勢彎曲シテ群島其  
前面ニ並ビ自一ノ内海ヲナス東ハ三石崎ヨリ西ハ地  
御前ニ至ル沿海二十里灣内ハ宇品金輪江波及似島等  
相列ル宇品ニ舟泊ノ處アリ其廣島ニ運輸スル者皆入  
リテ碇泊ス江田島其東南ニ横リテ三石崎ト海峡ヲ夾  
ム嚴島其西ニ峙チテ地御前ト一里ノ津渡ヲ隔テルノ  
ミ此二大島左右相對シテ内外海ノ限界ヲナス嚴島ハ  
日本三景ノ一ナリ島峯高ク聳ユル者ヲ彌山ト云フ其



土言要略 卷之四  
周回七里、皆斷崖奇岩ニシテ其勝景賞ス可キ處多シ、北  
ニ向ヒテ、小灣アリ、其正中ニ、市杵島姫ヲ奉祀ス、島名ノ  
起原ニシテ、又宮島ト云ス、其社殿ハ、平清盛ノ造營セシ  
處崖ニ倚リ、水ニ架シ、結構最美麗ヲ盡ス、左右ニ長廊ヲ  
廻ラシ、潮満ツレバ、殿廊皆水上ニ浮ブガ如シ、廣島ト相  
距ル七里、四方ノ人、來リ遊ブ者常ニ多シ、天文中、陶全姜  
ハ、其主、大内義隆ヲ弑スルヤ、元就先討賊ノ勅ヲ乞ヒ、欺  
キテ、此島ニ誘ヒ出シ、遂ニ風雨ニ乘ジテ夜急ニ是ヲ攻  
ム、全姜惶駛シテ逃ル、所ヲ知ラズ、忽其誅ニ伏セリト  
ゾ、毛利氏ノ大業ヲ成就セシハ、實ニ此一義戰ニ由レリ

一國ノ島嶼一百三十餘箇然、其居民村里アル者僅ニ  
四十島ニシテ、其他ハ、大率皆巨礁岩嶼ノ、能美島最大  
ナリ、其地東西ニ分レ、又地峽ヲ以テ、江田島ニ接ス、沿回  
并セテ二十八里、其次ヲ倉崎島トナス、周回二十五里、亦  
瀬戸渡子ノ三地ニ分レテ、一島三名アリ、其南岸ニ鹿老  
渡ノ港アリ、此島元陸地ニ接續シテ半島タリシガ清盛  
ノ屢嚴島ニ詣ツルニ當リ、海路ノ迂程ナルヲ以テ特ニ  
海峽ヲ開鑿シテ、行舟ヲ通ゼシト云フ、峽間僅ニ五町、其  
幅百二十間、潮流頗急激ナレト、今尚音頭瀬戸ト呼ビ大  
ニ運漕ノ便利ヲ成セリ、其南口ニ、情島アリテ、入峽ノ目

標トナル。○蒲刈大崎ノ兩大島ハ各上下兩島ヲ並べ大崎上島ハ周回十二里下島ハ是ニ半シ其港ヲ御手洗浦ト云フ蒲刈ハ上島七里下島四里生野豊島ノ兩島其間ニ並列シテ陸地ト海水ヲ圍ミ數十ノ群島其内ニ散布ス外洋ハ伊豫ト相接近シ齋島黒島其中央ニ雙立シテ海程ノ標準ヲナスト云フ。○東隅ノ島嶼ハ備後ノ院島ニ交リテ生口佐木高根ノ三大島アリ伊豫ノ大三島其西ニ立チテ大崎島ノ間ヲ限リ其海幅甚狭クシテ四圍ト相距ル僅ニ二三里ニ過ギス。○群島ハ並列散布セルヲ以テ舟行海岸ハ港灣多ケレ氏群島ハ並列散布セルヲ以テ舟行

ノ出入其便利ヲ得ズ能呂蠅峯ノ兩山其岸上ニ峙テリ蠅峯ハ中央ノ南端ニシテ其岬ヲ音頭瀬戸トナス峽ヨリ東ハ沼田川ノ海口ニ至ル沿岸三十里内海竹原三津ノ諸濱アリ惟忠海稍大船ヲ繋グニ堪ヘタリ抑此國ハ山陽中ノ大國ニテ備後ノ界ニ沼田川アリ周防ノ境ニ大竹川アリ其間官道二十六里廣島以東ハ悉山路ニシテ以西ハ海濱ニ沿ヒテ大路ヲ通ズ國內山多キモ大率瘠土ニシテ草木ノ繁茂セザル者往々相連ル阿武山吳婆々宇山相對シテ廣島ノ正北ニ並峙ス白水鷹巢防壽ノ諸山其東ニ連リテ國ノ中央ヲ限ル大土山

其東ニ聳エテ備後ノ天神山ニ接ス。○北境ハ共ニ大山脈圍ニ亘リ、刈尾山ヲツツマ峙チテ石見ノ界ヲ限リタレド其間禿山荒土列リテ數里ノ間泉流ヲ絶ッ處アリ然レ其東北ハ鐵山多クシテ丸山笹山等ノ諸礦アリ西ハ周防ニ接シ、十方鬼城シツホウ臥龍ヲガシウノ諸山高ク聳エテ國界ヲ擁ス大峯燒山及極樂寺山等ノ諸山ハ鬼城ヨリ東ニ分レテ其脈直ニ阿武山ニ接ス共ニ西隅海濱ノ北ニ列リテ亦中央ヲ亘リ限ル連山トナス

八木川ハ二源ヲ刈尾臥龍ノ兩山ニ發シ相合ヒテ東南ニ下リ根谷ネノ三谷ヤ柴木シノノ諸川ヲ并セ阿武山ノ麓ヲ遶リ

テ南ニ轉ズ其流二十三里是ヲ國中ノ大川トナス即大田川ノ上流ナリ其東南隅ノ水流ハ入野ニノ大具オホノ梨和リワ小泉ノ諸川皆鷹巢ノ山脈ヨリ流レ來リテ共ニ沼田川ニ合流シ十一里ニシテ海ニ入ル河口ハ備後三原ノ西郭ニ接ス木野川ハ西隅ノ衆水ヲ集メ大峯燒山ヨリ出ヅル者ト共ニ國境ニ沿ヒテ南ニ下ル大竹川是ナリ亦十一里ノ長流タリ此三川皆南海ニ注ギ入ル惟吉田川ヨシダ獨東北山間ノ川流ヲ并セテ北海ニ入ル

吉田川ハ其源ヲ石見ノ界ヨリ發シ東流シテ吉田ヲ過ギ備後ノ境ニ至リテ北ニ折レ遂ニ同國ノ三次川ニ會

流ス、國內ヲ流ル、者十餘里ニシテ、國境ヲ限ルモ、亦十  
里ヲ過グト云ス。○吉田ハ、廣島ヲ距ル十一里、即毛利氏  
ノ舊居城ニシテ、其趾ヲ郡山ト云フ、川ノ兩岸ハ、地勢漸  
開ケテ、且河運ノ利アリ故ニ、今尚小都會ノ街市タリ、  
周防ハ、大鳥玖珂熊毛都濃佐波吉敷ノ六郡ナリ、  
周防洋三十六里、其西隅ハ、長門ニ亘ル、即國ノ南洋ニシ  
テ、正南ハ、九州ノ豊前豊後ト相望ミテ、其間十里ニ過ギ  
ズバ代島其東ヲ限リテ、安藝伊豫ノ羣島ニ交ル、是ヲ大  
島郡ノ本島トナス、其周圍三十里、屬島七十并セテ一郡  
ノ地タリ、嘉刺山島ノ中央ニ聳ユ、又岳山ト呼ブ、島形狹

長ニシテ西廣ク、東細シ、其細端長ク出ヅル三里、岬前ニ  
情島アリテ、伊豫ノ怒和津和兩島ニ接ス、而テ北岸ハ、大  
畠ト海峡ヲ夾ミ、兩岸相距ル僅ニ八町、海潮激怒シテ、其  
叢雷鳴ノ如シ、大鳥鳴戸ト呼ビ、舟人其危險ヲ稱シテ、阿  
波鳴門ニ次グト云フ、島中ノ港泊ハ、南岸ニ、小泊家室ア  
リ、長島ハ、屬島中ノ大ナル者ニシテ、本島ノ西ニアリ、沿  
回九里、其港灣ヲ上關ト云フ、平群島七里、屋島四里、共ニ  
其南ニ並ビ、馬島牛島其北ニ列ル、岩見島沿岸三里、最西  
ニ屹立ス、是ヨリ、早鞆ノ海峡ニ至ル迄、洋中又島嶼岩礁  
ナシ、惟陸地ニ沿ヒテ、笠戸島向島等アルノミ、

國ノ海岸、其全ク南洋ニ向フ者、五十里、港灣相列リテ、舟泊ノ地、極テ多シ、トノミ富海ニ東西兩港アリ、是ヲ其中央トナシ、以西ハ、ヲホ西浦大海秋穂、アキホ岐波ノ四港、相並ビタル氏、ミ三田尻港ヲ、繁盛ノ處トナス、宮市ト相連リ、港前ニ向島横リテ、港泊ヲナス、其端一里、更ニ南ニ向ヒテ、又一港ヲ開ク、其上、關及長門下關ノ中間ニアル舟泊ナレバ、中關ト呼ベ氏、港市碇泊、遠ク二關ニ及バズ、○室津室積ハ、共ニ東南ニ亘リタル海岸ニテ、室積ハ、又、ニ御手洗ト云フ、其灣ヲ擁スル小岬ヲ、シラガ象鼻ト呼ブ、港内水深クシテ、甚碇泊ニ便ナリ、故ニ舟船輻湊シテ、其繁盛ナルヲ三田尻ニ次ゲリ

室津ハ、其南出ノ岬端ニ屬シ、セシバ仙波岳其上ニ峙チテ、ヤシロ八代島長島ノ間ヲ遮ル、港市ハ、上關ト相對シ、兩岸僅ニ二町ヲ隔ツルノミ、○トクヤマ徳山ハ、トノミ富海室積ノ間ニ在ル城市ニシテ、黒神大津ノ兩島、其西ニ列リ、大島海中ニ出ヅル三里、半島ノ地タリ、相圍ミテ、海灣ヲナセ氏、舟泊ノ處ニアラズ、アノ笠戸島周回七里餘、半島ノ東ニ横リテ、其西灣、自港泊ノ用ニ堪ヘタリト云フ

ササノ佐波椹野ノ兩川ハ、共ニ源ヲ長門ノ界ニ發ス、佐波頗大ナリ、南ニ流ル、ヲ十四里、宮市ノ西ヨリ、西ニ赴キテ西浦ニ注グ、其舟運ヲ通ズル者、上流九里ニ及ブ、椹野川ハ、

其流九里、山口ノ城市ヲ過ギテ、漸舟行アリ、更ニ南ニ下  
ルニ里、コトサリ小郡川ト呼ビテ、海ニ入ル、共ニ中央以西ノ水流  
ニシテ、東南ニ島田川アリ、環流八里、西ニ轉ジテ、淺江浦  
ニ入ル、其海、口ハ、室積ト相距ル一里餘、平沙行松、相亘リ、  
テ、濱浦ノ勝景、亦精明石、赤崎ノ如シ、以上三川ハ、皆流レ  
テ、南洋ニ入ル、其石見長門ノ界ヨリ出デ、東ニ向フ者  
ヲ、ミシヤウ御庄川ト云フ、是ヲ國ノ大川トナス、東北ノ溪流、悉集  
ル、岩國山ノ麓ヲ遠リテ、錦川ノ名アリ、又山ト其稱呼ヲ  
同クス、岩國ハ、小都會ナル城市ニシテ、彼有名ナル錦帶  
橋實ニ其東郭ニ架ク、錦川ノ中央ニ、石ヲ疊ミテ、西柱ヲ

設ケ、橋ノ長一百二十五間、分チテ、五架トナス、俗ニ算盤  
橋ト呼フ、蓋豫洪水ノ害ニ備フル者トス、水流ハ、橋下ヲ  
過キテ、今津門前ノ兩川トナリ、各海ニ入ル、源ヨリ二十  
四里、舟楫ヲ通ズル者、亦九里、其海口ノ濱浦ハ、安藝ト相  
對シテ、ヲ、ヒ小瀬川ヲ國界トス、即キヤクケ大竹川ナリ、是ヨリ南岸十  
里ニシテ、大畠ノ海峡ニ至ル、シニト新湊由宇ノ諸港アリ、ハシラツマ桂島  
及帆掛、ホカケ鞍掛ノ諸島、其海上ニ並ベリ、  
ヒニガワケ秘密岳、高ク聳エテ、水尾山ト相並ビ、キタニ木谷山、其上ニ立チ  
テ、更ニ高峻ナリ、共ニ東北隅ニ重リ峙ツ者ニシテ、其中  
央ヨリ南モ、シヤクシ大將陣、シヤクシ烏帽子、シヤクシ杓子ノ諸山、並列シ、其山脈尚

南ニ赴キテ海岸ニ至ル其端ハ即仙波岳ナリ○北境ノ連山ハ大山脈ノ亘リ圍之テ西ニ赴ク者石見ヲ限リテ南境ヲ環リ圍ム方便山兩峯雙立シテ長門ニ跨ル其此國ニ屬セル者ヲ東方便ト呼ベリ山口ハ西北隅ノ城市四面皆山ニシテ高峯最高シ古ヨリ險要ノ地ト稱シテ大内氏世々ノ居城地タリ建武中ヨリ周防長門ノ兩國ヲ領シ十世二百餘年義興義隆ノ時ニ至リ最富强ニシテ勇威ヲ山陽西海ニ振ヒ城市ノ制京都ニ擬ヒテ九條ノ大路ヲ開キシトゾ陶全姜ノ弒逆ヲ行フニ及び遂ニ毛利氏ノ討定スル所トナレリ

長門モ亦六郡厚狹豊浦美禰大津阿武見鳥ト云フ中土ノ大山脈ハ全國ノ脊梁ニ亘リ来ル者茲ニ盡ク故ニ中國兩道ノ端ヲ受ケ連山ヲ中央ニ列ネテ地勢ノ向背ヲ限ル其山陰ノ端ニ當ル者ハ沿岸三十里北海ニ向ヒテ石見瀉ニ連ル其山陽ノ隅ニ居ル者ハ周防洋ニ臨ミ早鞆ノ海峡ニ至ル其間二十里ニ充タズ中央ノ連山ハ其脈ヲ石見ノ界ナル徳佐峯ニ赴シ周防ノ境ニ亘リテ西方便山トナリ遂ニ日岳高丸花尾雁飛及櫻山等並列一帯西ニ赴キテ下山ニ接ス是ヲ豊浦山トトス即大山脈ノ絶斷スル者ニシテ其餘脈尚南ニ出

デ、早鞠海峽ヲナシ、仍テ海勢ヲ分ツ、峽内ハ、即周防洋  
 ニシテ、峽外ヲ響灘ト呼ブ。○玉峯貴飯峯大寧寺峯等ノ  
 峻坂ヲ連山ノ間ニ通ジテ、南北ノ道路トナス。水流モ亦  
 從ヒテ、左右ニ分流ス。阿武川最大ナリ。故ニ大川ト呼ブ。  
 徳佐峯ノ奥ヨリ出テ、西ニ下リ、群山ノ間ヲ環流シテ、  
 北ニ轉ジ、分レテ川島ヲ抱キ、各北海ニ入ル。本流ヲ萩川  
 ト呼ビ、支流ヲ松本川ト云フ。其流十五里ナレド、河運ノ  
 利、僅ニ四五里ノミ。粟野川ハ、下山ノ背ニ出テ、北ニ流ル  
 、七里ニシテ、粟野港ニ入ル。此兩川ノ地方ハ、即連山ノ  
 北陰ニテ、西ニ俵山、粟野山等、相峙ク、以東ハ、國境ニ至ル

迄山重リ、谷深クシテ、村里甚稀少ナリト云ノ。○吉田厚  
 東厚狭ノ三川ハ、共ニ連山ノ中央ニ發源シテ、南ニ流ル。  
 吉田川最長流タリ、大寧寺峯ヨリ来リ、二十里ニシテ、長  
 府ノ東ニ注グ。厚東川ハ、花尾山ノ晴嵐瀧ヲ、其源泉トナ  
 シ、厚狹川ハ、玉峯ニ出デ、未益浦ニ入ル。各流ルハ、十餘  
 里ニシテ、皆周防洋ニ入ル。  
 早鞠瀨戸ハ、豊前ノ門司關ト、海峽ヲ交シ、兩岸相逼リ、テ  
 間僅ニ五町計、海流駿急ニシテ、舟行最奇險ナリ。蓋中國  
 四國ノ際ニ湛フル海水ハ、其潮汐ノ外洋ニ通ズル者、此  
 峽及阿波、鳴門、伊豫速吸、淡路由良ノ四口ニ由ル、而テ此



峽最狹シ、故ニ其出入スルノ勢ハ、他ニ比スレバ、更ニ奔  
激ヲ極メタリ、上世ハ、岸上、相接シテ、其下ニ洞門ヲ通シ  
タレバ、國ノ舊名ヲ、穴門ト云ヒシガ、後壞崩シテ、兩岸相  
隔ルト云フ、此邊ハ、壇浦硯海等ノ名勝アリ、壽永中、平氏  
ノ族、覆没ニ遭ヒテ、安德帝モ、亦海中ニ崩御シ給ヒシ舊  
趾ナリ、赤間宮ハ、即帝ヲ奉祀スル處タリ、赤間ハ、赤馬關  
トモ云フ、下關是ナリ、峽外ノ北岸ニ臨ミ、南部町伊崎町  
等、直ニ海濱ニ列リタリ、凡北海、而海ヨリ、大坂ニ廻漕ス  
ル者、皆此港ニ入ル、且中國ヨリ西國ニ渡ル要津ニ當リ、  
豐前ノ小倉ハ、舟程三里、故ニ海運陸輸、凡百ノ物貨、此地

ヲ經過セザルナシ、舟舶常ニ輻湊シテ、往來晝夜絶エズ、  
實ニ繁盛ナル一都會タリ、引島ハ、周回六里、正西ニ横リ  
テ、大灣ヲ抱ク、福浦港亦良泊タリ、島ノ兩端、又海峽ヲ夾  
ム、南口ハ、豊前ノ大里ト相向フ、峽間十二町、大瀬戸ト云  
フ、北口ハ、伊崎ト相對ス、一町ニ充タズ、是ヲ小瀬戸ト云  
フ、灣内ハ、俎岩、鳴瀨岩、流島等、屹立シ、與次兵衛岩、其南ニ  
峙チテ、豊前ニ屬ス、共ニ浮標ヲ設ケテ、舟行ノ標目トナ  
ス、○引島以而ハ、即響灘ニシテ、六連島、其海上ニ立チ、燈  
臺ヲ建テ、海峽ノ方位ヲ示ス、是ヨリ以北ハ、其海岸西  
ニ向キ、鬼城山高ク、南方ニ峙チ、御崎鼻出デ、北方ヲ限

ハ、海上ハ、厚島<sup>アツシマ</sup>、里島<sup>シマ</sup>等相並ビ、蓋井島<sup>フタヱシマ</sup>頗大ナリ、港灣ハ、沿岸二十里ノ間ニ、特牛浦<sup>コトウ</sup>アレ、大船ヲ繋グ能ハズ、其隅ノ北ニ折ル、處ヲ折紙崎<sup>コリガミ</sup>ト云ヒ、其角ニ、角島<sup>ツノシマ</sup>アリ、栗野大浦ノ兩港相對シテ東北ニ在リ、向津具<sup>ウカツク</sup>ノ岬西ニ向ヒテ、突出スル四里、仍テ兩港ノ海灣ヲ抱ク、  
嶽ハ北海ニ向ヒタル海濱ニ接シ、濱崎<sup>サキ</sup>港ヲ舟泊ノ處トナス、城市ノ設ハ、大川ニ沿ヒテ、亦一都會ノ地タリ、其海ロハ、玉江<sup>タマエ</sup>、鶴江<sup>ツルエ</sup>ノ諸浦ニ連リ、漸東北ニ亘リテ、夕和江<sup>ユフカエ</sup>崎<sup>サキ</sup>須佐<sup>スサ</sup>ノ諸港アレド、海岸ニ岩礁相列リ、高山ノ岬突出シテ、其崖下最絶壁ナリ、○濱崎ノ洋中ニ、周回四里ノ孤島

霜降嶺

アリ、即見島郡ノ地、其海程相隔タル十一里、而テ陸地ニ接スル諸島ハ、大島、相島等、共ニ沿回二里餘、青海島<sup>アヲミ</sup>更ニ大ニシテ、九里ノ周岸ニ及ブ、其舟泊ヲ通港ト云フ、  
周防洋ニ臨ミタル海岸ハ、霧降山<sup>シモフリミヤ</sup>東隅ニ聳エ、其脚突出シテ、兩角ヲナス、東ヲ宇倍鼻<sup>ウバノサ</sup>ト云ヒ、西ヲ本山<sup>モトヤマ</sup>崎<sup>サキ</sup>ト云フ、  
本山最長岬タリ、其濱浦ハ、港泊ノ地ナク、西隅ヲ長府トナス、小都會ナル城市ニシテ、今郡名ニ依リテ、豊浦ト云ス、下關ト相距ル一里半、其海上ニ、滿珠<sup>マンジュ</sup>干珠<sup>カンジュ</sup>ノ兩島相並ビテ、西ニ金伏岩<sup>カナフキイワ</sup>アリ、即早鞆海峡ノ東口ニ接シ、亦浮標ヲ置キテ、舟行ノ標目トナスト云フ、

物産

姫路草、赤穂鹽、立野醬油、明石縮、高砂漆、山本燒、舞子燒等  
ハ、播磨ノ名品ナリ、美作ノ葛粉、搗栗、鮎魚ハ、載セテ延喜  
式ニアレバ、其古來ノ國産タル亦知ル可シ、其他ハ津山  
ノ雲齋織、高田ノ硯石等ヲ其有名ノ者トス、礪山ハ、全道  
悉銅鐵、兩山ニシテ其銀坑ハ、此國及播磨、長門ノ三國ノ  
之、而テ備前、安藝、周防ハ、蠟石、砥石ノ産アリ、伊部ノ陶器  
ハ、其質堅實ニシテ、備前燒ト唱ヘ、長船ノ刀劍モ、備前物  
ト呼ビテ、古ヨリ名作利器ノ稱アリ、三備ハ、共ニ疊表ヲ  
製シテ、四方ニ輸出ス、備後最精良ニシテ、直ニ國名ヲ呼

ビテ、其定稱トナス、高粱ノ檀紙ヲ鬻キ、矢掛ノ抽餅子ヲ  
賣ル、亦各地ノ專製タリ、鞆ノ名酒ハ、保命酒、養氣酒及梅  
酒、菊酒等ノ九品アリ、安藝ハ、加茂燒、大竹紙、西條材等ノ  
産物ニシテ、山中ハ、苧麻ヲ植エテ、各種ノ麻布ヲ織ル、能  
美倉、椅、兩島ノ木綿、及蒲刈、大崎諸島ノ石灰ハ、海島中ノ  
別産タリ、岩國縮、大島木棉ハ、周防ノ良品ニシテ、萩鹿子  
赤間硯、深川燒ハ、長門ノ名産ナリ、其海産ハ、全道共ニ内  
海ニ臨ムヲ以テ、小魚介蟲ノ屬ニ過ギズ、兎鳥ハ、水母、糠  
蝦ヲ佳品トシ、水島沖ハ、春時初鯛ト呼ブ者最美味タリ、  
廣島近海ハ、淺處ニ就キテ、蠣田ヲ設ケ、盛ニ牡蠣ヲ養殖

ス、檀浦ノ沿海ニ、平家蟹ト唱フル者アリ、甲ニ人面ノ如キ紋様ヲ現ズ、實ニ動物中ノ異産ト云フ可シ、而ニ長門ハ西北ニ外洋ヲ受クルヲ以テ、見島海中、常ニ捕鯨ノ業ヲ成スト云フ、

日本地誌要略卷之四 終

